

地域医療に係る医師の確保

■ 現状

西胆振圏域は、基幹病院となる4つの総合病院（日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、伊達赤十字病院、市立室蘭総合病院）を中心として急性期医療等を提供し、病院相互の連携や、病院と診療所との連携を図りながら地域住民が安心できる医療提供をしています。

広域分散で医師の偏在が著しい本道の状況下においても診療機能の分化等を進め、効率的な医療提供体制を構築し、医師の勤務環境の改善等を図ってきたところではありますが、医師不足の状況が続いています。

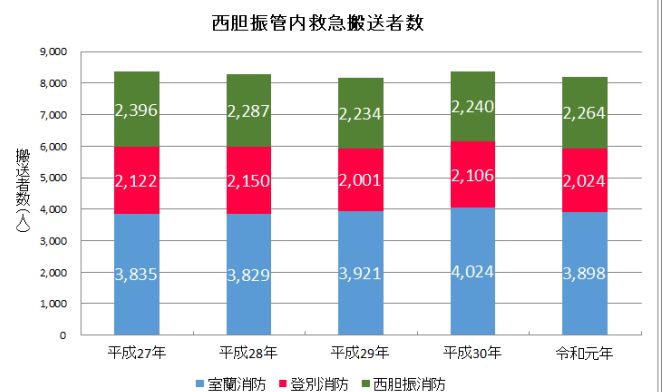
こうした中、室蘭市では、今後の人口減少等を見据えた中で、西胆振圏域における持続可能な医療提供体制の構築に向けて、自治体や医療関係者による協議会を設置し、地域医療構想を踏まえながら、基幹病院の連携・再編等の協議を進めています。

■ 課題

● 医師の働き方改革を通じた医師の負担軽減

西胆振地域では、7医療機関が二次救急医療機関として、救急患者約32,000人のほか、8,000人を超える救急車搬送者に対応するなど住民の健康を確保するため、日夜努力しています。

こうした中、2024年4月には時間外労働規制が適用され、タスクシフトやタスクシェア等により医師の負担軽減を図ることとされていますが、タスクシフト先の人材確保（看護師等）も困難な中で、医師の時間外労働規制が適用されることにより、地域医療の崩壊も懸念されます。



● 地域医療の確保に必要な医師の確保、実効性のある医師偏在対策の実施

本道は、札幌圏に医師の約半数が集中しており医師の偏在が著しい状況です。西胆振圏域は入院患者の圏域内需給率が94.4%と高く、医師の偏在解消を通じて二次医療圏で入院を完結するために必要な医師確保が必要となっています。また、特に今後の高齢化の進行を踏まえ、救急医療、プライマリケア、精神医療の充実等に必要となる整形外科、呼吸器内科、循環器内科、総合内科及び精神神経科の医師確保が課題となっています。

● 地域医療構想を踏まえた医療機関の連携・再編等に関する協議の推進

今後の人口減少等を見据え、安定した医師確保に向けた症例数の確保や勤務環境の改善を図り、将来的にも持続可能な医療提供体制を構築するため、地域医療構想も踏まえながら、基幹病院の連携・再編等の協議を推進することが必要となっています。

■ 要望内容

- 医師の負担軽減、働き方改革に伴い、地域医療を取り巻く環境が厳しくなる中、恒常的な医師不足や医師偏在の解消を図り、地域包括ケアシステム構築に向け在宅医療も視野に入れた西胆振圏域における安定した医療の提供体制を確立できる医師の確保
- 救急医療、プライマリケア、精神医療の充実等に必要となる整形外科、呼吸器内科、循環器内科、総合内科及び精神神経科の医師確保
- 基幹病院の連携・再編等の協議の推進に向けた人的支援や、基幹病院の連携・再編等により生じる施設・設備整備等に対する財政支援